

巻頭インタビュー

東北大学の魅力を世界に伝える



メリッサ・ヘングさん



ライリー・ナロマさん

今回の倶楽部MIAでは、東北大学国際広報センターのチーフエディター、ライリー・ナロマさん(ニュージーランド出身)とシニアエディター、メリッサ・ヘングさん(シンガポール出身)をご紹介します。

——最初に、出身国についてご紹介下さい。

ライリー ニュージーランド最大の都市オークランド出身です。ニュージーランドとオーストラリアは近いと思われがちですが、実際は日本とフィリピンくらい離れています。先住民族は、ラグビーニュージーランド代表(オールブラックス)が国際試合の前に踊る民族舞踊「ハカ(闘いに臨む踊り)」で有名なマオリ族です。

メリッサ 出身国のシンガポールは、仙台市と同じくらいの面積しかないとても小さい国です。治安の良さや街中に緑が多いことなど、仙台とシンガポールには共通点が多いと感じています。

——次に、日本との出会いについてお話しいただけますか？

ライリー 小学生の時に2つの出会いがありました。1つ目は、2歳上の姉が日本人の友達の家からもらった、折り紙とかかわいいパッケージデザインのお菓子です。2つ目は、授業で日本を紹介する映像を見たことです。着物姿の日本の女性が雪見障子から外の鶴を眺めていて、すてきだと思いました。

メリッサ 私の日本との出会いは、高校生の時でした。シンガポールの全国紙でインターンをしていた際に、シンガポールを訪れた日本のアイドルグループ「少年隊」のメンバー取材し、コンサートも見ました。その時に彼らの歌や踊りの上手さに魅了され、日本のポピュラー音楽を聴くようになりました。

——興味深い日本との出会いですね。その後、現在の仕事に至るまでの経緯はどのようなものだったのでしょうか？

ライリー ニュージーランド国内の大学でグラフィックデザインを専攻し、卒業後もその関係の仕事をしていました。私生活では、ニュージーランド在住の日本人と結婚し、3人の子どもに恵まれました。ただ、当時、母はサウジアラビア、姉はフランス、弟は韓国と、私自身の家族が誰も近くにいない状況で、「家族が近くにいる環境で子育てを」という思いから、夫の国、日本に引越すことに決めました。仕事は、仙台市の外国語指導助手

(ALT)のアドバイザーを務めた後に現在の仕事を得て、今年で4年目になります。

メリッサ アメリカの大学を卒業した後、オーストラリア、香港、シンガポールで、テレビの報道記者やプロデューサーとして働きました。その後、仙台市のALTとして中学生に英語を教えた時にライリーさんと知り合いました。いったんシンガポールに帰国しましたが、私の職歴をよく知っていたライリーさんから熱心に勧誘され、再び来仙して現在の仕事をすることになりました。今年で3年目です。

——今、どのような仕事を担当しているのでしょうか？

ライリー 東北大学で行われている優れた研究や魅力的なイベントを海外の方に広く知ってもらうため、日本語で書かれた原稿を英語に翻訳したり、英語で原稿を作成したりして、大学のHPの英語版に掲載するのが主な仕事です。FacebookやTwitterといったソーシャルメディアを利用した英語での情報発信も担当しています。

メリッサ 私は、学内でどんな研究や行事、イベントが行われているかを伝えるため、教員や学生に取材して英語の原稿を作成したり、写真や動画の撮影、編集をしたりしています。ライリーさん同様、ソーシャルメディアでの情報発信もしています。

——仕事をする上で、難しいあるいは面白いのは、どんなことでしょうか？

ライリー 翻訳が1番難しいですね。「原子分子材料科学」のような難解な日本語が普通に出てきますし、たまにそういう難しいなと思うようなこともあります。全体として仕事は面白いです。職場環境も気に入っています。世界のトップレベルの研究をしている人がその辺を歩いているような環境で働けるのは、すごいことだなと思っています。

メリッサ 日本人が書いた英語の文章の編集が難しいですね。日本人は詳細に書く傾向がありますが、英語の文章では要点を絞るのが大事ですから、自然な英語の文章にするのを難しく感じる時があります。面白いのは、世界各国から来た多様な留学生と接することができる点です。刺激的で、若さを保てる気がします。

——今後の抱負をお聞かせ下さい。

ライリー 今も心掛けていますが、翻訳する時は直訳でなく、必要であれば構成を変えるなどしっかり編集を行い、質の高い英語の文章にして情報をお届けしたいと思います。広報に関しては、例えば東北大学への留学を考えている外国人など情報の受け手を念頭に置き、彼らにとって有用な情報を発信していきたいです。

メリッサ 「TOHOKU」という言葉も、東北大学も国際的にはまだまだ認知度が低いのが現実です。魅力的な文章や映像で、「東北大学に来て得られるものは何か」ということを、世界中の人々に伝えていきたいです。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2017年12月～2018年1月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2017	12	S	M	T	W	T	F	S	2018	1	S	M	T	W	T	F	S
							1	2		1		1	2	3	4	5	6
	3	4	5	6	7	8	9			7	8	9	10	11	12	13	
	10	11	12	13	14	15	16			14	15	16	17	18	19	20	
	17	18	19	20	21	22	23			21	22	23	24	25	26	27	
	24 31	25	26	27	28	29	30			28	29	30	31				

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

12月 DECEMBER

1日

第50回地球の子ども通信国際交流事業
「カンボジアの子ども達による
仙台ホームステイプログラム」
ウェルカムパーティー
● 地球の子ども通信(CCE)
● 日立システムズホール仙台 交流ホール
● 18:30～
● 無料
● FAX 022-376-5382
● nra55237@nifty.com

2日

第50回地球の子ども通信国際交流事業
「カンボジアの子ども達による
仙台ホームステイプログラム」文化交流会
● 地球の子ども通信(CCE)
● 仙台市桂市民センター
● 9:30～
● 無料
● FAX 022-376-5382
● nra55237@nifty.com

3・10・15・23・24日

瑞巖寺ボランティアガイド
● 松島善意通訳者の会
● 瑞巖寺
● 10:00～15:00
● 不要(直接現地へ)
● 入館料700円は自己負担
● FAX 022-354-3678(大浦)
● k-ohura@kfx.biglobe.ne.jp
● http://www.geocities.jp/matsushim
agw

3・10・15・24日

円通院ボランティアガイド
● 松島善意通訳者の会
● 円通院
● 10:00～15:00
● 不要(直接現地へ)
● 入館料300円は自己負担
● FAX 022-354-3678(大浦)
● k-ohura@kfx.biglobe.ne.jp
● http://www.geocities.jp/matsushim
agw

9日

外国人の子ども・サポートの会
2017年度 第2回公開研修会
「社会に出る前に知っておこう!労働法」
● 外国人の子ども・サポートの会
● 仙台国際センター 会議棟
1階 交流コーナー 研修室
● 13:00～16:00(受付12:30～)
● 要(FAX・メール、12月2日締切)
● 500円(高校生、大学生無料)
● FAX 022-375-5639
● jets@sda.att.ne.jp

http://kodomosupport.jimdo.com/

9日

第50回地球の子ども通信国際交流事業
「カンボジアの子ども達による
仙台ホームステイプログラム」
フェアウェルパーティー
● 地球の子ども通信(CCE)
● イズミティ21 展示室
● 18:45～
● 無料
● FAX 022-376-5382
● nra55237@nifty.com

13～15日

カンボジアフェア
● サントピアアップみやぎボランティア会
● SELVA(仙台市泉区泉中央)
● 10:00～18:00
● 不要
● 無料
● 022-376-3920
● FAX 022-379-4957
● info@santapi.com
● http://www.santapi.com/

20日

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会
● 宮城県行政書士会
● 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
● 13:00～16:00
● 電話受付または予約なしでもOK
● 無料
● 022-261-6768
● FAX 022-261-0610

22日

仙台フィンランド協会
「ファミリークリスマスパーティー」
● 仙台フィンランド協会
(事務局:七十七銀行秘書室内)
● ホテルメトロポリタン仙台
● 18:00～
● 要(FAX、定員100人)
● 大人(高校生以上)5,000円、
小・中学生2,000円、留学生1,000円、
小学生未満無料
● 022-267-1111
● FAX 022-264-2706

24日

第50回地球の子ども通信国際交流事業
「カンボジアの子ども達による
仙台ホームステイプログラム」
ホストファミリー報告会
● 地球の子ども通信(CCE)
● 日立システムズホール仙台 会議室3
● 10:00～12:00
● FAX 022-376-5382
● nra55237@nifty.com

1月 JANUARY

13日

多文化共生シンポジウムin名取
● 宮城県、公益財団法人宮城県国際化協会
● 名取市文化会館 小ホール
● 14:00～16:00
● 無料
● 022-211-2972(宮城県国際企画課)

14日

留学生との新年会
● 地球の子ども通信(CCE)
● 未定
● FAX 022-376-5382
● nra55237@nifty.com

17日

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会
● 宮城県行政書士会
● 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
● 13:00～16:00
● 電話受付または予約なしでもOK
● 無料
● 022-261-6768
● FAX 022-261-0610

18日

忘れ得ぬザンビア-感染症プロジェクト
● アフリカセミナーの会
● 仙台国際センター 研修室
● 10:00～12:00
● 不要
● 1,000円
● FAX 022-362-7907

21日

2018 春節国際文化祭
● 宮城華僑華人女性联谊会
● 富谷市武道館(富谷市一ノ関隣山6-8)
● 10:00～14:00
● 要(FAX・メール、1月8日締切)
● 1,500円
● FAX 022-277-4582
● qinmei9@hotmail.com
● https://www.facebook.com/Miyagi
ChineseWomenCommunityGroup/

31日

MIA日本語サポータービギナー研修会
● 公益財団法人宮城県国際化協会
● 宮城県国際化協会 交流ラウンジ
● 13:00～16:00
● 要(電話・メール、定員20名、先着順)
● 無料
● 022-275-3796
● mail@mia-miyagi.jp

2018年MIA日本語講座講師募集のお知らせ



本協会が主催するMIA日本語講座では、2018年4月からの授業を担当する講師の募集を行います。

募集講師: MIA日本語講座初級1または初級2クラス(昼・夜)を担当する方、若干名

応募資格: 日本語教育能力検定に合格している方または420時間の日本語教師養成講座を修了している方でクラス形式の教授経験のある方

委嘱期間: 2018年4月1日から2019年3月31日まで
(委嘱期間は1年ですが、更新する場合があります)

選考方法: ①指定の課題について教案を作成し、申込時に提出。
②提出の教案を基に模擬授業。

申込締切: 2018年1月15日(月)必着

お問合せ: 委嘱条件や教案の課題等詳細についてはMIAまで(HPに募集要項を掲載しています)



MIA日本語講座の様子

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック」

編集:日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会

日本の教育制度や宮城県の高校入試の仕組み、高校通学にかかる費用などについて解説した『日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック』の改訂版が作成されています(中国語、韓国語、英語、タガログ語、スペイン語版あり)。MIAで配布しているほか、ガイダンス実行委員会のウェブサイトからダウンロードすることもできますので、是非ご活用ください。

<http://shinro-miyagi.jimdo.com/進路ガイドブック/>

送料をご負担いただければ、郵送いたします。詳しくはMIAにお問い合わせください。

※1言語1部ずつのみの配布となりますので、ご了承ください。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1

仙台第一生命タワービル20階

TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090

E-mail thictpp@jica.go.jp

JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

★青年海外協力隊OB/OGに話を聞きたい!

★災害時の海外緊急援助や、
途上国での防災支援について知りたい!

★アフリカの水問題を勉強したい!

そんなときはJICA東北へ!

【国際協力出前講座】

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア経験者や、開発途上国での経験を持つJICAスタッフ等を、小・中・高校・大学や市民講座などに派遣します。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/kaiatsu/demae/index.html>

【青年海外協力隊・シニア海外ボランティアについての個別相談はいつでも受けています】

お問い合わせ:

JICA東北市民参加協力課

022-223-4772

thictpp@jica.go.jp



出前講座の様子



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学 国際広報センターからのお知らせ

所在地 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

東北大学 広報課内

TEL 022-217-4816

E-mail public_relations@grp.tohoku.ac.jp

Web <https://www.tohoku.ac.jp/en/>

東北大学のニュース・イベント情報や、宮城の良さを英語100%で発信中!

東北大学は2014年、国際広報センターを設置しました

世界中から優秀な研究者や学生に来ていただくために、東北大学や宮城の良さを、海外に向けて、英語だけで宣伝しています。

英語でSNSしませんか

私たちのWebサイトとSNSの最大の特長は、ネイティブ・スピーカーによる「美しく正しい英語」です。プロのジャーナリストが取材・執筆した記事は読み応え充分。SNSはほぼ毎日ポストしていますので、英語を勉強中の方にもお楽しみいただけます。

海外に向けて一緒に宮城を宣伝しましょう

東北大学では、季節毎にフォトコンテストを行っています。テーマは「あなたが世界に紹介したい・自慢したいもの」。外国人からも多数の応募をいただいております。入賞者には商品が贈られます。あなたのベストショットをお待ちしています。詳細はWebサイトで!



第1回フォトコンテスト入賞作品
「Enjoying Sasakamaboko with friends」
撮影者: Germaine Lau



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
 いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

ベトナム人技能実習生と地域の人たちが交流を深めました

10月1日に「石巻に吹くベトナムの風～ベトナム人技能実習生との交流会～」を開催しました。

この交流会は、石巻市内の企業で働くベトナム人技能実習生と地元の人たちが交流を深めることを目的として、MIAと石巻市、そして実習生向けの日本語教室を開催している国際サークル友好21との協働事業として実施されました。

当日は100名以上の方が参加し、実習生によるベトナムの文化や日々の実習についてのプレゼンテーション、料理の試食、民族衣装の試着などを通して同国について理解を深めつつ、実習生たちと和やかに懇談しました。

宮城県内では3千人ほどの技能実習生が食品製造業や建設業などの企業で働いており、さまざまな形で私たちの暮らしを支えています。残念ながら、そのことを知らない人は多く、また、実習生が職場以外の人と知り合う機会も限られている、というのが実情です。

今年11月から新制度が施行され、実習生の数が引き続き増えることが見込まれているなか、地域社会が実習生をどう受け入れていくかは、多文化共生を考えるうえでの大きな課題となりつつあります。

MIAでは、微力ではありますが、今回のような実習生と地域との接点を作る取り組みを今後も続けていく予定です。



多文化共生シンポジウムin名取《外国人市民と語る、豊かな子育てinなとり》

宮城県が毎年開催地を変えて実施している「多文化共生シンポジウム」。平成29年度は、名取市を会場に子育てをテーマとして実施します。

当日は、名取市で子ども3人を育て上げたトンガ出身の武井ラシーニさん(現群馬県在住)が凱旋基調講演をおこない、名取市長や国際活動団体代表も交え、タイ、フィリピン、オーストラリア

出身の名取市民の方たちとともにパネルディスカッション形式で話題を広げます。どんなトピックが飛び出すか、ぜひお楽しみに。

- ◆日 時 平成30年1月13日(土) 14:00～16:00
- ◆会 場 名取市文化会館小ホール
- ◆入 場 無料
- ◆問い合わせ先 宮城県国際企画課 ☎022-211-2972

MIA法人賛助会員ご紹介コーナー

学校法人仙台育英学園(法人本部・仙台市)



国際バカロレアディプロマプログラム (IBDP)の授業風景

本学園は、福島県会津若松出身の加藤利吉氏が1905年に仙台で開いた「育英塾」が発展したもので、現在では高校野球の強豪校と知られる仙台育英学園高等学校と秀光中等教育学校の2校を運営しています。

創立以来、加藤氏が唱えた「至誠」「質実剛健」「自治進取」の3つの精神を機軸とする一方で、時代や社会の求めるものを的確に捉え、社会のニーズに柔軟に対応できる有為な人材と社会に貢献できる人間の育成を目指し、特色ある教育活動を展開してきました。

近年は国際的な教育活動に力を入れています。仙台育英学園高等学校は2015年に東北で初めて国際バカロレアディプロマプログラム (IBDP)を導入し、現在、外国語コースの希望する生徒達が英語の課題論文作成や討論、実践を伴う社会活動などに取り組み、グローバルシチズン(世界市民)として現代を生き抜く力を身に付けています。

また、世界各国に100近い姉妹校があり、スポーツを通じた交流、長期の交換留学といった国際交流も盛んです。特に、中国の提携校の生徒を迎えて行う文化交流、質の高い中国語教育の実施など中国との交流は活発です。今後は、発展の目覚ましいインドネシア、タイといった東南アジア諸国との交流にも重点を置く予定です。



賛助会員募集 当協会はおかげさまで30周年を迎えました。

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ◎企業会員については世界各国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎本協会あて御連絡ください。
◎所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 **MIA** vol.94

編集・発行 公益財団法人 宮城県国際化協会
 〒981-0914
 仙台市青葉区堤通兩宮町4番17号
 宮城県仙台合同庁舎7階
 TEL 022(275)3796
 FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/



再生紙を使用しています。